

耐震評定 専門委員会（最終保存図書）用 提出図書作成要領

以下の項目について、簡易ファイルに製本してください。
 ※最終保存図書については、下記【最終保存図書について】をご覧ください。

1 建 物 概 要	1-1. 一般事項 1-2. 案内図 1-3. 全景写真 1-4. 平面図 1-5. 立面図 1-6. 断面図 1-7. 構造伏図 1-8. 構造軸組図 1-9. 部材リスト等
2 建 物 調 査 結 果	2-1. 建物調査結果概要 2-2. 構造部材断面調査 2-3. 外観履歴調査 2-4. コンクリート強度等調査
3 耐 震 診 断 結 果	3-1. 診断方法 3-2. 建物の重量 3-3. T指標 3-4. S_D 指標 3-5. 診断結果表 3-6. 破壊モード図 3-7. C_T -Fグラフ 3-8. I_S 値の決定 3-9. 検討事項 3-10. 診断の所見
4 補 強 設 計	4-1. 補強方針 4-2. 補強後建物の重量 4-3. 補強後 S_D 指標 4-4. 補強後診断結果表 4-4-1. 補強後診断結果表 4-4-2. 補強後診断結果の考察 4-5. 補強後破壊モード図 4-6. 補強後 C_T -Fグラフ 4-7. 補強後 I_S 値の決定 4-8. 補強部材の設計 4-9. 補強設計図 4-10. 総合所見
5 そ の 他 の 検 討	5-1. 指摘事項回答書 ※最終保存図書に入れてください 5-2. 別添資料 5-2-1. 現地調査報告書 5-2-2. 電算出力資料 ※1

【最終保存図書について】

- (1) 「1 建物概要」の前に、「耐震評定書(写し)・概要書(写し)」と「耐震評定申請書(写し)」を入れてください。
- (2) 「指摘事項回答書」は、最終保存図書作成の際に入れてください。
- (3) ※1 5-2-2. 電算出力資料は、CD-Rで最終頁に添付でもかまいません。
- (4) 最終保存図書は【2部】作成し、評定書交付後、2週間程度でご提出ください。
(申請者様保管用 1部 + 事務局保管用 1部)

製本方法は、「簡易製本」をしてください。

- (5) ページの差替えができない方法であれば製本方法は問いませんが、長期間の保管となりますので、表紙・裏表紙は補強してください。